経営比較分析表（平成30年度決算）

佐賀県　江北町

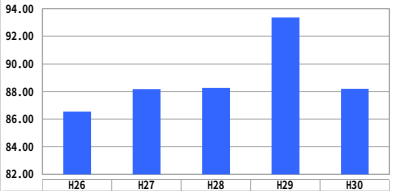
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	77.03	101.67	2,930

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
9,679	24.49	395.22
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
7,460	2.54	2,937.01

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1．経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	86.56	88.19	88.27	93.38	88.21
平均値					

②累積欠損金比率(%)

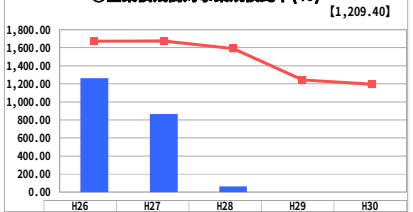
	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③流動比率(%)

	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

④企業債残高対事業規模比率(%)

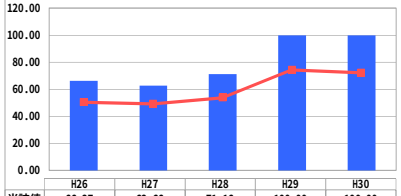
【1,209.40】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	1,266.03	865.81	63.98	0.00	0.00
平均値	1,671.86	1,673.47	1,592.72	1,243.71	1,194.15

⑤経費回収率(%)

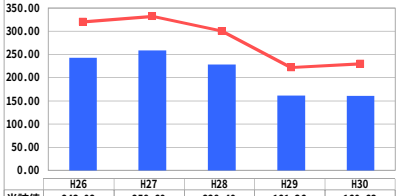
【74.48】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	66.27	62.66	71.16	100.00	100.00
平均値	50.54	49.22	53.70	74.30	72.26

⑥汚水処理原価(円)

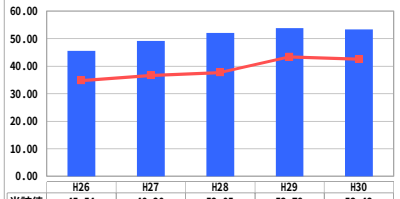
【219.46】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	243.02	258.69	228.49	161.36	160.63
平均値	320.36	332.02	300.35	221.81	230.02

⑦施設利用率(%)

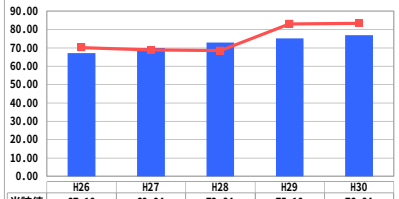
【42.82】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	45.54	49.20	52.05	53.78	53.42
平均値	34.74	36.65	37.72	43.36	42.56

⑧水洗化率(%)

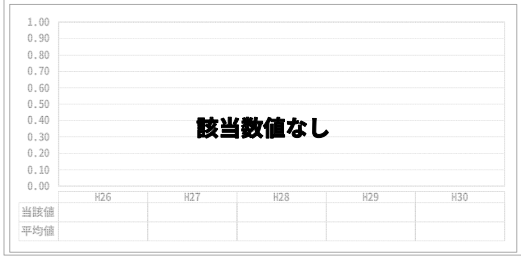
【83.36】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	67.18	69.94	72.84	75.10	76.84
平均値	70.14	68.83	68.46	83.06	83.32

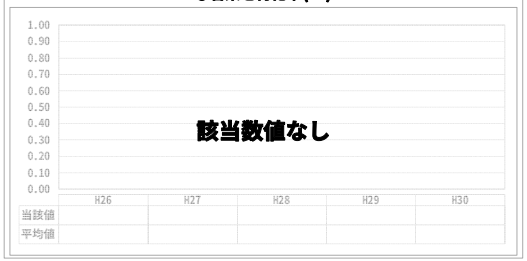
2．老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

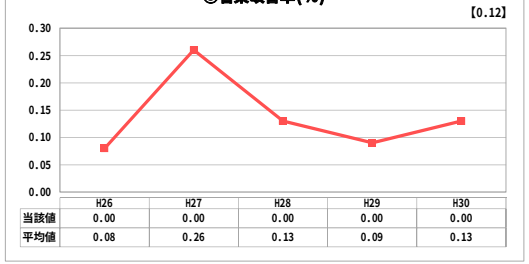
②管渠老朽化率(%)



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値					
平均値					

③管渠改善率(%)

【0.12】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.08	0.26	0.13	0.09	0.13

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1．経営の健全性・効率性について

・下水道使用料は昨年度より増となっているが、それ以上に元利償還金・処理施設の管理委託料が増となっており、収益的収支比率が減少している。過去5年間で一番高い水準であった平成29年度でも100%を下回っているため経営改善への取り組みを強化していく必要がある。

・企業債残高対事業規模比率、経費回収率、汚水処理原価、施設利用率は全国平均及び類似団体平均よりも良好であるため、今後も接続推進により高水準での使用料収入を維持していく。

・水洗化率は右肩上がりだが、平成29年度より全国平均及び類似団体平均を下回っているため、今後は接続推進をより強化していく必要がある。

2．老朽化の状況について

・施設の耐用年数を考慮し、ストックマネジメント計画の策定を行うことで維持管理及び更新費用の平準化を図る。また定期的な点検を行う。

全体総括

　特定環境保全公共下水道事業については、管渠整備がほぼ完了している。今後は計画的な維持管理及び更新事業を行うことで費用の抑制を図っていく。
　また、地方公営企業法の適用・経営改善に向けた経営戦略の改定・維持管理費に見合った料金改定までを一つとして考え、一般会計からの繰入に依存している現状を改善していく。